

# 辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース

第 1 号 平成15年9月

発行: 藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

## 地域まちづくり会議がスタート

- カントク跡地を中心としたまちづくりに関する検討を行うために、辻堂・明治・湘南大庭地区の市民、商工業者等の組織等から18名の委員の推薦をいただき、2名の専門家を含めた「藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議」が8月19日に発足しました。
- 地域まちづくり会議は、カントク跡地を中心としたまちづくりに関する意見・要望及び提案された事項を整理し、辻堂駅周辺地区整備基本計画検討委員会に報告し、可能な限りまちづくりに反映させていただくことを目的に活動を行っております。

## まちづくりの方向性について

### 成熟した湘南の環境と文化を基盤とした

#### 「都市経営拠点」

- 本市の都市構造再編のリーディング役
- 良好な環境を将来の次世代に引き継ぐために、環境と共生する都市の形成を図る。

### 経済の根幹である産業力を強化するための新しい

#### 「産業集積拠点」

- 本市の新たな産業活動と人・物・情報の流れの創生と新たな産業集積の受け皿となる研究開発機能や都市型産業拠点の構築を図る。

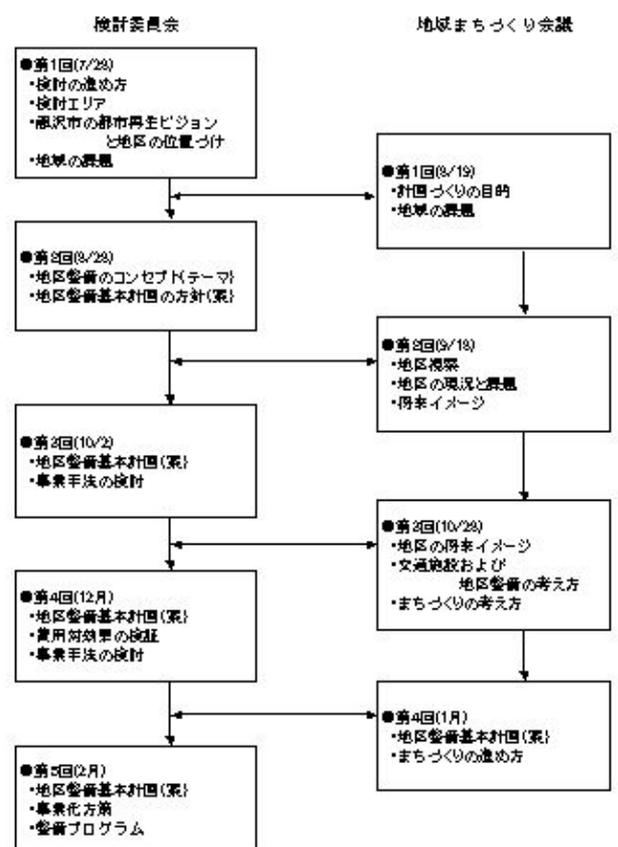
### 将来の都市連携・広域行政を視野に入れた

#### 「広域的な都市活動連携の形成拠点」

- 広域行政の連携拠点としての都市機能、交通基盤の充実を図る。
- 質の高い都市空間、生活空間を生み出す社会的な都市機能の形成を図る。

検討委員会は、まちづくりの理念、土地利用、都市基盤及び事業手法や土地利用更新手法並びに環境形成等の方向について検討するため、専門家、神奈川県、県警本部、茅ヶ崎市、JR東日本、地権者及び藤沢市の委員20名で構成されています。

< 辻堂駅周辺地域まちづくりの検討の進め方 >



検討委員会、地域まちづくり会議の開催回数及び開催時期並びに検討内容については、検討の状況により変更となる場合があります。

## 地域まちづくり会議の委員紹介

### 辻堂地区

辻堂くらし市民の会  
石井 進

辻堂商店街連合会  
大関 好司

### 明治地区

湘南辻堂商店街振興組合  
稲村 早生

辻堂町内自治連絡会  
大石 静雄

辻堂南部自治会連合協議会  
佐川 達之

明治地区くらし・まちづくり会議  
安達 昭三・伊藤 早直

二ツ家町内会  
石井 昇

辻堂新町町内会  
吉本 晴夫

辻堂駅前ハイツ自治会  
瀬川 昌昭

辻堂駅前ハイツ9号棟自治会  
青木 博

キーパー株式会社  
石戸 良司

株式会社大新工業製作所  
島田 順平

辻堂新町商店街振興組合  
志村 隆一郎

明治地区自治町内会連合会  
府川 セツ

### 湘南大庭区

湘南大庭フォーラム  
内藤 惇之・高木 幸夫

地域まちづくり会議コーディネーター  
菅 孝能 ・ 西田 勝彦

## カントク跡地の経過

- (1) 平成 11 年 12 月関東特殊製鋼株式会社（以下、カントク）が、工場機能の集約で生みだす余剰地（約 4.7ha）の有効活用方針を明らかにしました。
  - カントクは、駅前にふさわしい土地利用や規制緩和等を検討するために、カントク主催で学識者、関係機関等の参画を得て「辻堂地区産業リノベーション検討委員会」を平成 12 年 1 月に設置し検討の結果、工場からの機能更新を「用途変更先導型再開発地区計画」制度を視野に実現化を図るべき取りまとめを行いました。
- (2) 平成 13 年 3 月に都市基盤整備公団（以下、公団）が、カントクの余剰地約 4.7ha を購入しました。
  - 公団は、余剰地の地区整備の方向性を検討するため、公団主催で学識者、関係機関等の参画を得て、「辻堂神台地区周辺検討委員会」を平成 13 年 10 月に設置し、検討を行っている状況の中で、カントクが平成 14 年 11 月に全面撤退（約 15.5ha）を表明し、結果として検討内容の再見直しとならざるを得ない状況となりました。
- (3) カントク本社工場の撤退スケジュールとしては、ロール事業等については、平成 15 年 11 月までに関西へ移転する予定。
  - 平成 16 年 5 月までに生産活動を中止し、平成 17 年 7 月末までに跡地の整地を完了する予定。
  - 公団所有地については、既に工場解体が完了し整地がなされています。

発行元：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

事務局  
藤沢市役所 計画建築部 都市計画課  
〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1  
TEL 0466-50-3537 FAX 0466-29-1353  
Eメール: tosikei@city.fujisawa.kanagawa.jp

ご意見ご提案がある方は、お手数ですがお手紙、FAX、Eメールにて事務局までお寄せ下さい。事務局で取りまとめて地域まちづくり会議に報告し、検討を行います。なお、ご意見ご提案に対する個別の回答はいたしません。

HP への掲載は、10 月 1 日を予定しています。  
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosii/>

# 藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議・第1回のまとめ「計画づくりに期待するもの」

## キーワード「防災」

- ・防災拠点の整備を望む。
- ・広域避難場所、災害救難基地、被災者の仮設住宅地にもなる広大なオープンスペースを確保して欲しい。
- ・浸水被害が現在もある。遊水池機能も備えて欲しい。

## キーワード「文化」

- ・静かな駅前ゾーンであって欲しい。学園などが出てくると良い。
- ・市内に無い美術館などのある文化艺术ゾーンに。

## キーワード「福祉・医療」

- ・市内には総合病院である藤沢市民病院があるが、将来の自治体合併などを考えるともう一つ広域的に対応できる施設が欲しい。
- ・辻堂駅勢圏に総合病院が欲しい。
- ・高次の医療機関が欲しい。

## キーワード「商業」

- ・大規模な商業施設は要らない。
- ・これ以上の商業施設は地元の商店街を衰退させるだけだ。要らない。
- ・商店街がもっとがんばれるように、商店街が元気が出るような人が行き来する跡地計画を。
- ・福祉をテーマにするなど、商店街も新しく生まれ変わらねばならない。

## キーワード「公園」「森」

- ・環境にやさしい公園を中心にした計画。
- ・森の再生。
- ・防災機能を備えた公園の整備。
- ・跡地を三つに分けて、南の駅に一番近いところは商業などのゾーンに、真ん中は大きな森林公園に、北側は行政施設ゾーンに。

## 計画づくりの前提として

- ・「辻堂駅周辺地区」の市としての位置付けを明確にして欲しい。
- ・100年先を見た計画を立てて欲しい。
- ・藤沢・茅ヶ崎の谷間から脱却するチャンスだ。
- ・北口は南口より後背地が広く、従って拠点としての潜在能力は大きい。ただ、茅ヶ崎側は芙蓉カントリーの丘が壁になって余り後背地は大きくない。
- ・鉄道で分断されてきた南北を一つにする計画を立てて欲しい。
- ・辻堂南部地区のまちづくり計画は北側のカントクありきでつくられている。辻堂南部地区のまちづくりも考え直す必要がある。
- ・商・工・住のバランスのとれた土地利用を進めて欲しい。
- ・昔は雲雀の揚がるのどかな土地だった。自然環境を取り戻したい。

- ・公団の土地は公共的な利用が主になると思うが、残りは誰が取得するかには拠るのではないかと。
  - ・原則、公団・カントクも土地を売却する考えです。
- ・カントクの計画が解らない。いつまで土地を持っているのか。誰に譲るのか。また、協同油脂はどうなのか。
  - ・カントクはH16年5月までに生産活動を中止、H17年7月末までに整地完了の予定。
  - ・土地の売買は譲渡先も含めそれ以後になると思われる。
  - ・協同油脂はH15年度で生産活動を中止するが、研究開発や事務部門はここに残留の予定である。
- ・市は土地を取得する気はあるのか。
  - ・これからの検討課題である。
- ・事業の財源は確保できるのか。
  - ・地権者の皆さんと共有できるものなど整理・検討し、方針を決めていく。
- ・計画の実行性をどうやって担保するのか。
  - ・担保できる制度・仕組み等を検討する。

## キーワード「辻堂駅」

- ・湘南大庭地区の住民の殆どは辻堂駅を利用している。
- ・辻堂駅をもっと利用しやすくすべきだ。駅の機能をもっと充実して欲しい。
- ・駅ビルが南北交流の場になればよい。
- ・駅前広場も拡充すべきだ。
- ・相鉄いずみ野線を辻堂まで延伸すべきだ。
- ・ライフタウンと結ぶ新しい交通システムの拠点にもなる駅だ。
- ・JRはライナーホームを造る考えがあるのか。輸送力増強会議等で辻堂駅を要望していく。
- ・新交通システムの構想はどうなっているのか。駅前広場など、新しい交通システムへの対応を考えていく。

## キーワード「産業・工場」

- ・既存の工場が共存できる計画を望む。
- ・税収の見込める高度な産業施設ゾーンにすべきだ。

## キーワード「職場」

- ・東京まで勤めに出なくても市内です仕事ができるよう、業務ゾーンに。
- ・湘南ライフタウンには、パートで働ける女性など人材が沢山住んでいる。そういう人達が働ける場を整備して欲しい。
- ・職住近接で働く場を整備すべきか。生活圈としての環境整備を図るべきか。よく考える必要がある。

## キーワード「住宅」

- ・住宅は市行政にとって、財政収支で見たとき負担になるのではないかと。

- ・明治くらしまち会議では都市マスをつくる時に「辻堂駅北口再整備に関する提案・要望書」を出している。是非参照して欲しい。
- ・辻堂くらしまち会議も地元で話し合いたい。

## キーワード「道路」

- ・バス通りである「昭和通」の幅を望む。

## キーワード「行政施設」

- ・将来の2市1町の合併を考えると、辻堂はちょうど中央に位置する。市庁舎を中心に官庁街に。
- ・将来の広域連携・合併を見据えて市役所を移転したらよい。
- ・合併の見通しがまだ見えない今、市役所の移転計画を立てるのは時期早尚ではないかと。